



## コミュニティ・スクール(CS)だより 第4号

### = 今一度 コミュニティ・スクールとは =

令和7年度、甲南中部小学校が「コミュニティ・スクール」だという認知度を上げるために情報発信に力を入れてきました。例えば「すぐーる」にコミュニティ・スクールだよりを掲載する。校内の目立つ所に写真等を掲示するなどです。その結果として、学校評価においては保護者さんの認知度が前期は43%だったのが後期は約20%増の62%に上がり一定の成果が現れたものと捉えています。しかし、「コミュニティ・スクール」という言葉は知っているが具体的にどういうことなのかまでは知られていないのが現状ではないかと思えます。

そこで今一度「コミュニティ・スクール」とはどのようなものかをできるだけ簡単に下記に記載しましたので是非ご一読いただければと思います。

#### ◆コミュニティ・スクールとは

「地域みんなで一緒に子どもを育てていく仕組み」のことです。具体的に言うと「保護者や地域の人たちも学校づくりに参加する学校」のことです。

#### ◆コミュニティ・スクールの仕組み

コミュニティ・スクールは①学校運営協議会 ②地域学校協働本部の両輪で推進しています。

##### ① 学校運営協議会とは

「学校・子どもたちを良くするために」保護者、地域の人、有識者等の推薦された9名の委員の方が年間5～6回集まり話し合う組織です。

##### ② 地域学校協働本部とは

学校と地域をつなぐ「地域の応援団」のような組織です。甲南中部小学校では、直接子どもたちと関わってくださっている、老人クラブ、育友会、スクールガードリーダー、図書ボランティア、営農部、子ども食堂の代表の方で組織されています。

甲南中部小学校では、登下校の見守り活動、地域住民や保護者の授業支援、FBC地区花壇の支援等

#### ●「学校へ行ってみよう！」プロジェクト

中部小学校に関心を持ってもらいたい！という思いから始めた協働活動の取組です。今年は2回同窓会の一環として中部小学校を訪問していただきました。来年も気軽に学校にお声をかけ、訪れていただければと思います。



## □昔遊びボランティアにたくさん参加していただきました！

2月5日の「たこ揚げ」には9名。2月12日と17日の昔遊びには14名。昨年より多くのボランティアさんが1年生の子どもたちの昔遊びの支援として来校していただきました。子どもたちもボランティアさんに教えてもらい一緒に遊べて楽しそうでした。



【たこ揚げ】



【昔遊び】

### 【令和7年度第4回学校運営協議会の概要について】

■日時 2026.1.20 (火) 18:00~19:10

■場所 校長室

■参加者 学校運営協議会委員 8名 学校職員4名 社会教育指導員1名 計13名

○議事 (進行：地域コーディネーター)

- (1) あいさつ・・・校長
- (2) 「後期学校評価」について

#### 【主な意見】

- ・全体的に見るとほとんど肯定的。上がっている項目が多い。
- ・「学校が楽しい」「人の役に立ちたい」と思っている子どもが多いのがすばらしい。学校が一丸となって取り組んでいる成果の現れだと思う。
- ・人への思いやりなど豊かな心が育っている。中部小の子どもは優しい子どもが多い。
- ・自己肯定感が高くプライドに繋がっており、そのことが「学校が楽しい」につながっている。
- ・「授業がわかる」が80%を越えているのはすごいことだ。
- ・保護者の方の記述式があればよいと思う。
- ・子どもの当日の気分で評価が変わることがあるので細かい数値は気にしなくてよい。
- ・コミュニティ・スクールの認知度についての設問は具体的な取組を記述すると評価がもっと上がったと思われる。
- ・「こどもの良さ」をもっと地域・家庭から伝えてほしい。
- ・アンケートの母数を上げる工夫が必要かも知れない。
- ・子どもの評価と保護者の評価のずれは家庭でのコミュニケーション不足によるもの。
- ・コミュニティ・スクールの方向性としてはいい感じで進んでいる。

等々

